

ローズバッド

オリジナル高め復調 秋冬から靴の新ライン



今月はブラウスとパンツ
のセットアップを推す
(ルミネエスト新宿店)

ローズバッドが復調傾向にある。オリジナル比率を高めた結果だ。3～5月の既存店売上高は前年同期比2%減だったが、主力店舗のルクア大阪店、ルミネエスト新宿店、タカシマヤゲートタワーモールは前年を超えた。地方でも客数と客単価の高

い店舗が健闘している。今秋冬にはオリジナルの靴の新ラインを販売、顧客開拓を進める。昨春夏から利益向上を目的にオリジナルブランドの比率を高めた。品番数は従来、1シーズンに約2500だった

秋冬に始めたオリジナルの「ジンヘブンズ」が好調に伸びている。プロパー消化率は前春夏より高まり、8月末には昨年の50%増以上になる見通しだ。商品は春アウターが前年にまして売れた。トレネチコートやショートブルゾン、テラードジャケットはショートパンツと

が、今春夏は約1600で今後もこれを維持する。今春夏の売り上げ構成比はオリジナルが6割、インポートが4割。18～19年

合わせて動いた。ドレスは異素材ミックスや開襟、ティアードが良かった。雑貨は靴が苦戦している中でも「シャカ」や「フイラ」と協業したスポーツサンダルが健闘した。バッグは前年比2ケタ増と売れ、レザーバッグやウエストポーチ、雑材使いがけん引している。

今後の課題は新規、既存ともに客数を上げること。「商品の質を高めつつ、適正な価格に引き上げることで客単価はとれている。お客の関心を引くような雑貨の品揃えを見直し、来店促進につなげる必要がある」(林哲也商品本部本部長)という。今秋冬から靴の新ラインを販売する。昨春夏に始めた「ミチ」や得意とするデニムスタイルに合わせやすいデザインを揃える。エッジが利いたモードなデザインに、日本人の足に合った木型で履き心地も良くしたのが特徴。価格帯は1万円台半ば。第1段はヒールサンダル4型を8月から販売する。